

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)11月5日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24015
発信者名:小嶋、田中(豊)



集落営農法人の連携に向けた先進地視察研修を開催

東近江市八日市の建部地域にある3つの集落営農法人では、現在、広域連携法人の設立に向けて検討を重ねています。しかし、具体的な連携方法の検討になると、話がなかなか前に進まない状況にありました。そこで、今後の議論の参考とするため、令和5年4月に合併法人を設立した地域の事例を学ぶ先進地視察研修を開催しました。

10月20日(日)に3つの集落営農法人から12名が参加し、石川県河北郡津幡町にある(農)倶利伽羅(くりから)を訪問して代表理事等から合併法人の概要や合併に至る経緯等をお話いただきました。

特に印象的であったのは、代表理事の『一緒になる、合併することを最優先事項として、お金・資産の話は一切自分から口にしなかった』という話でした。組織によって保有資産が大きく異なる中で、お金の話が中心になると絶対にまとまらないと考え、人材の問題に対応するために一緒になることを最優先として検討を重ねたということです。

建部地域でも人材の確保が課題であり、広域連携法人を設立して専従者を確保しようという考えで検討を進めています。今回の研修を踏まえて、建部地域における最優先事項が何であるかを再確認し、それに向かって議論が深まるよう支援を継続します。



研修風景